

「町田市未来都市研究 2050」

町田市未来シナリオを受け、対応方針とロードマップを最終提言 共同研究シンポジウムを4月7日(木)に、 東京都市大学世田谷キャンパスで開催(オンラインにて同時配信)

町田市未来づくり研究所と東京都市大学総合研究所未来都市研究機構(以下、未来都市研究機構)は共同で、2050年の未来の町田市について、テクノロジーの進化による都市や市民への影響を踏まえ、シナリオプランニングという新たな手法を用いた共同研究「町田市未来都市研究 2050」に取り組んでいます。この度、町田市未来シナリオを受け、対応方針とロードマップを含めた最終提言をまとめました。

また、4月7日(木)には、2年間に渡る町田市未来づくり研究所と未来都市研究機構共同研究の成果を報告するシンポジウムを開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

1. 2050年までの対応策とロードマップ

今年度3回のワークショップを実施し、町田市未来シナリオ 2050への対応策を検討してきました。ワークショップの結果を踏まえて、町田市未来づくり研究所と未来都市研究機構は、具体詳細な対応方針を取りまとめ、最終提言をまとめました。この最終提言をまとめる過程では、30代~40代の比較的若手の気鋭の研究者・実務家に第2回有識者ヒアリングも実施しました。3回のワークショップの結果をもとに市役所職員らとまとめた対応策への専門家評価を得て、それをフィードバックしながら最終提言を取りまとめました。

町田市未来シナリオには、4つのシナリオが想定されています。「①登録者1000万世界都市 Machida」、「②地域密着型 東京なら町田」、「③選ばれない自治体」、「④赤字経営 破綻する町田」の4つです。

「①登録者1000万世界都市 Machida」のようなポジティブな未来シナリオの実現、あるいは「④赤字経営 破綻する町田」のようなネガティブな未来シナリオを回避するためには、今から行動を起こせるものもあります。闇雲に行動するのではなく、目標を達成させるためには、何をすべきか定め、目標に近づいているかどうかを確認しながら、徐々に、一歩ずつ、今からできることを進めていく必要があります。2050年の未来シナリオからバックキャストし、2050年までにすべき対応方針とロードマップを5つの段階レベルで提言しています。

1-1 対応方針①: 今すぐにも早期に着手・完了の上、成果を出す

2050年を待たずに、今からでもすぐに着手すべき、そして完了して成果を出していくべき対応方針として、以下のようなものをあげています。

- ダイバーシティ教育推進
- シンボリックな求心力を持つ場の創造

- 縦割り行政からの脱却（現在の部局制、意思決定構造の見直しなど）
- 公開モニタリングなど政策決定プロセスの透明化と EBPM（エビデンスに基づく政策立案と実行・管理）の導入
- 各種行政サービスのデジタル/オンライン化とリアルとの融合（タブレット供与、市民サポート、データ解析による市民ニーズ把握、個人情報保護の徹底、シンプルな制度設計）
- 姉妹都市提携など、物理的な町田市の「飛び地」の創造

1-2 対応方針②：既に一部着手済だが、今後もより強化する

既に一部は着手されている部分もあるが、今後より強化していくべきものとして、次をあげています。

- サービスの多言語化
- 低所得者支援
- デジタル x リアルの効果的な教育の推進（中等、リカレント）
- プロスポーツチームや選手、アーティスト、タレントなどシンボリックな存在の育成
- 公共施設再編計画など事業仕分けの着実な推進（公共施設や事業の適正化を主眼においた合理的な再編計画の実行と推進）
- 内部人材の育成、外部人材が活躍できる場の創造と積極的活用
- Civic Pride: まちとしてのアイデンティティを与え、愛着ある町田へ

1-3 対応方針③：2020年代前半に着手し、中長期的に取り組む

まだ本格的には着手していないが、2020年代前半には着手して、中長期的に取り組むべきものとして、次をあげています。

- グリーンインフラの活用・グリーンコミュニティの創造
- 防災向け空き家活用
- ハード（施設）整備に依存した行政サービスからの脱却
- 申請主義からの脱却
- 既成の法律の枠内に縛られた前例踏襲や思考停止から脱した政策立案→時代に応じた規制緩和の推進
- ジェンダー/セクシュアリティ/外国人の視点を取り入れ、インクルーシブな自治体としての取り組みの推進

1-4 対応方針④：2020年代後半に着手し、長期的取り組みで成果を出す

まだ本格的には着手していないが、2020年代後半には着手し始めて、長期的に取り組んで成果を出すべきものとして、次をあげています。

- まちづくりにおける空き家活用
- 土地・建物の有限一時利用の推進
- 市民協働によるレジリエントな街づくり
- 行政だけで抱え込まない（税収にのみ依存しない）民間活用による「稼ぐ自治体」への転換
- 出来ない人の支援だけでなく、やる気のある市民・企業を引き上げる行政サービス

1-5 対応方針⑤：技術進歩に合わせ実証研究から戦略的に取り組む

技術の進歩に合わせて、実証研究から戦略的に取り組んでいくべきものとして、次をあげています。

- 宇宙ビジネス等先進産業の誘致
- 高付加価値な産業への支援
- アバター活用など行政アプリなどのプラットフォーム上で人と人が繋がりやすくなる仕組みづくり
- 自動運転を活用した次世代交通システム

2. 共同研究シンポジウムの概要

これまでの2年間に渡る共同研究成果の報告を兼ねて、町田市未来づくり研究所と未来都市研究機構の共催で、シンポジウムを開催いたします。みなさまにおかれましては、新たな知見の発見の場、情報の共有の場として、是非積極的に活用いただければ幸いです。ご参加を心よりお待ちしております。詳細は以下の通りです。

- 日時：2022年4月7日(木)17:30～19:30 (17:00 受付開始)
- 場所：東京都市大学世田谷キャンパス 2号館1階 21C教室
および オンライン(Zoom)
- 基調講演：市川宏雄 (町田市未来づくり研究所所長・明治大学名誉教授)
- 研究成果報告：葉村真樹 (未来都市研究機構機構長・東京都市大学教授)
北見幸一 (未来都市研究機構都市マネジメント研究ユニット長・東京都市大学准教授)
西山敏樹 (未来都市研究機構ヒューマン・センタード・デザイン研究ユニット長・東京都市大学准教授)
- パネルディスカッション「～町田市の2050年を考える～」：
町田市役所 x 東京都市大学総合研究所未来都市研究機構
- 申込方法：

①リアル会場の参加申込方法(参加費無料)：

4月3日までに町田市イベントダイヤル (042・724・5656)
または以下の申込 URL (または QR コード) からイベシスコード
220317H-A へアクセスし、お申し込みください。



https://www.event-sys.call-center.jp/WebEntry/machida/EventApplication.aspx?event_id=220317H&event_id_sub=A

※定員 50 名。満席の場合は事前申込みされた方の優先入場とさせていただきます。

②オンライン(Zoom)の参加申込方法(参加費無料)：

以下の申込 URL (または QR コード) にアクセスし、
必要事項を登録し、お申し込みください。※定員 1000 名。



https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_KvY0Kc3uRgKJaTKoCmaWLA

◆「町田市未来都市研究 2050」の全体概要◆

人口減少、人口構造の変化に伴い、生活関連サービス（小売・飲食・娯楽・医療機関等）の縮小、税収減による行政サービスの水準低下、地域コミュニティの機能低下等、様々な問題が懸念されています。

一方で、平成に入りテクノロジーの変化が加速し、この10年程度の間、スマートフォンが特に普及し、SNSを通じて世界中の様々な行動や価値観が可視化され、生活者の意識、行動に影響を与えています。今後より一層、テクノロジーの進化が、社会、生活者に影響を与えると考えられることから、今後起こりうる様々な問題の解決の糸口となるよう、テクノロジーを中心とした長期的な将来都市像の姿を描き、必要と考えられる都市戦略を検討することを目的としています。

従来、自治体ではフォアキャスティング的手法（過去のデータや実績から導かれるトレンドに基づいて将来を予測し、必要な対応策を考える方法）により、将来を予測し対応してきましたが、現在のような不確実な社会・経済情勢においては、将来を確実に予測することは難しくなっています。

そこで、町田市未来づくり研究所と未来都市研究機構では新たな手法として、不確実性を前提とし、複数の未来を想定したシナリオを作成し、シナリオに応じた都市戦略を描き出すシナリオプランニングの手法により、テクノロジーの進化を見据えた、2050年の町田市の都市像に関する研究を行っています。

前回までの進捗（2020/9/26 公開、2021/3/9 公開、2021/7/30 公開、2021/11/30 公開）については下記 URL をご覧ください。

●2020年9月

<https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/miraidukurikenkyujo/2050kenkyu.files/20200925release.pdf>

●2021年3月

<https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/miraidukurikenkyujo/katudounaiyou/2050kyoudoukenkyu/2050kenkyu.files/202103release.pdf>

●2021年7月

<https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/miraidukurikenkyujo/katudounaiyou/2050kyoudoukenkyu/2021sinchoku.files/20210730sinchoku.pdf>

●2021年11月

<https://www.city.machida.tokyo.jp/shisei/miraidukurikenkyujo/katudounaiyou/2050kyoudoukenkyu/2021sinchoku.files/20211130shinchoku.pdf>

◆町田市全般に関する問い合わせ先：

町田市未来づくり研究所（政策経営部企画政策課内）

担当：本吉仁志、野田健太郎

e-mail:m2ri@[]city.machida.tokyo.jp * []を@に変換ください。

◆研究内容に関する問い合わせ先：

東京都市大学 総合研究所 未来都市研究機構

担当：葉村真樹（機構長・総合研究所教授）、北見幸一（都市生活学部准教授）

e-mail: miraitoshi[[@](mailto:miraitoshi@tcu.ac.jp)]tcu.ac.jp * [[@](mailto:miraitoshi@tcu.ac.jp)]を@に変換ください。